

第3回「もりメイトキッズ」 ～大竹市松ヶ原キッズフィールド

10月16日 《参加》子供13名 保護者11名 スタッフ：13名 学生ボランティア9名

～テーマ：【森の恵みを活かそう】 木を切ろう！パート2・シイタケの原木づくり、・薪割り体験～

今年度最後のキッズは、穏やかな天候の中、無事開催されました。前はスギの木を倒しましたが、今回はコナラ等の広葉樹に挑戦しました。

また、大学生のボランティアがたくさん参加して下さり、この時とばかりに大学生のチームを作り伐倒作業を行いました。今まで参加したキッズたちは、ノコの使い方にも慣れてきて、マスターしたノコの技術を、ここぞとばかりに積極的に発揮し励

んでおりました。大学生はキッズたちに負けじと丁寧にノコを使い、力を合わせて作業を行っておりました。

みんなで力を合わせて木を伐った「楽しさ」や「がんばった」この体験を通して、森林が担う役割を学び、自然大好きな心を育み、そして守る(森林整備の大切さ)事を知り、次世代を担ってもらえたらと願うばかりです。

午後は、「森の恵みを活かそう」の一環で、前回伐倒したスギの木を利

用して薪割り体験を行いました。保護者や大学生を含め、斧を使うのが初めての方がほとんどで、なかなか思うように斧が使えなかったのですが、難しさも楽しさの裏返し。すっかり作業にはまってめげることなくやり遂げておられました。

来年度のキッズも、自然が持つ力と環境整備の重要性を伝えつつ、森の恵みを活かせるようなプログラムにしていきたいと思っています。



せへの、いくよ！ ターザンロープだ。 大学生チーム。スタッフが伐根(切り口)をチェック。 玉切り作業、結構大変！がんばった

もりメイトキッズ、毎回のお昼は超人気。みんな大満足です。



お昼ごはんを説明する北田夫妻。毎回季節の食材を使い、子ども達の喜びそうなものを考えています。



メニューは、栗入りキノコご飯、トーガンの煮物、シュウマイ、サツマイモとリンゴのコンポート他



シュウマイは手作り。セイロで美味しく蒸し上がりました。



左：配膳の様子。コロナ前は子ども達が交代で行っていました。

右：手作りカマド。耐熱煉瓦で形を作り、周りを粘土で固めています。毎回、羽釜でご飯を炊いたり、汁を煮たり。燃料は小枝や間伐材など、すぐ近くで調達しています。8年選手！がんばれ！